

報町利由東

11/1

No. 332 昭和57年11月1日発行 毎月1日発行

昭和57年

No. 332



蔵二号トンネルも貫通

国道一〇七号線 愛宕山を貫く一〇五メートル

今年七月から掘削工事が進められてきました国道一〇七号線蔵二号トンネルが貫通し、十月十九日由利土木事務所、町、工事関係者、地域住民代表らが出席して貫通式を行い、鏡をぬいて無事貫通を祝いました。

同トンネルは、蔵の愛宕山を東西に貫き横渡橋にぬける延長一〇五メートル。蔵新田の薬師山を貫く一号トンネルは、これより先、六月に貫通しています。

工事は、この後、トンネル内のコンクリートまきたて工事と抗門工事、路帯工事が進められ、今年度中に、西の浜から横渡間二、九〇〇メートルの蔵工区全線が概成する見込みです。

同工区のうち、蔵新田から横渡間の一、三〇〇メートルはバイパスとなり、沿線集落内の交通量の緩和はもちろん、産業経済や生活文化の交流など町勢発展のうえに大きな役割を果たすものと期待され、一日も早い開通が待たれます。

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

町功労者に三氏

11月3日に表彰式



故 長谷山理一郎氏



遠藤 孫助氏



阿部 廣雄氏

今年度の町功労者に、元町監査委員の故長谷山理一郎氏（上通）、町農業委員会長の遠藤孫助氏（小倉）、農学博士の阿部廣雄氏（本町杉森出身、東京・東久留米市住）が決まりました。三氏は、町表彰条例に基づき十月十五日に開かれました功労者選考委員会の選考を受け、晴れの受彰が決まったものです。町では、文化の日の十一月三日有鄰館で表彰式を行い、功績をたたえる表彰状と記念品を贈ることになっています。功労者の業績等は次のとおりです。

故長谷山 理一郎氏 東由利町老方字老方一七の二。大正五年十二月一日生。昭和五十六年十一月三十日没。遺族、長谷山フクヨ氏。昭和十年から三十八年余の長い間郵政業

務に携わり、その大半を老方郵便局長として業務の推進にあたられ、この間、本町の電話通信機能の整備拡充を図り、山間地としてはいち早く電話自動化への足がかりをつくる

など、広範な郵政業務を通じ、地域の産業経済活動の発展に寄与された。
昭和三十九年に初の東由利村監査委員に選任され、以来十四年余にわたり、公正な財務監査にあたられ、町政の安定伸長と住民福祉の増進に貢献された。
昭和五十六年十一月三十日死去に伴い、郵政業務の功により従五位・勲五等に叙され、瑞宝章授与。

阿部 廣雄氏 本町杉森出身。東京都東久留米市学園町二丁目一六ノ三。大正九年九月十二日生。昭和十七年盛岡高等農林学校（現岩手大学）卒。二十二年農林省に入省し、五十六年に退官するまで、同省農業技術研究所経営土地利

町功労者選考委員の方は次のとおりです。（順不同）
・小野昭一氏（宿）・佐藤松之助氏（宇戸坂）・小野廣志氏（宿）・長谷山千代蔵氏（地下の沢）・佐藤欽次郎氏（蔵新田）・阿部義直氏（沼）・遠藤兵一氏（小倉）以上七名。

町功労者選考委員

用部養畜研究室長、同省東北農業試験場農業経営部長などを歴任。農業経営研究の統轄指導に当たるとともに、農業関係学界にも参画し、多くの研究論文、著述をとおし、わが国農業経営の発展に貢献された。昭和三十七年東京大学から農学博士の学位授与。現在、日本農業経済学会理事・日本農業経営研究会（学会）理事・日本農村生活研究会評議員・同東北支部理事等を歴任。

臨時議会

水道拡
張事業

八つに細分し発注 工事請負契約を議決

町議会第八回臨時会は十月二十九日に招集され、東由利水道拡張整備にかかわる工事請負契約の締結についてなど八議案を審議、いずれも原案どおり可決、承認して閉会しました。

・契約の方法 指名競争入札
▽第一工区建築工事（浄水場建物）
・契約金額 一億二千万円
・契約の相手方 北海土木工業株式会社東北支店（盛岡市、三浦唯夫取締役支店長）
▽第二工区第一部門浄水機及び付帯電気設備工事

・契約金額 一億七千四百五十万円
・契約の相手方 オルガノ株式会社仙台営業所（仙台市、原田庄補所長）
▽第二工区第二部門電気設備及び計装設備工事
・契約金額 四千九十万円
・契約の相手方 秋田電機建設株式会社（秋田市、近藤英夫取締役社長）
▽第三工区第一部門土木工事（水源池、沈砂池、松柴配水池）
・契約金額 三千百十万円

・契約の相手方 佐藤組（八日町、佐藤徳市代表）
▽第三工区第二部門土木工事（館合配水池、第三配水池）
・契約金額 三千三百五十万円
・契約の相手方 株式会社大沼組（蔵新田、大沼武且代表取締役）
▽第三工区第三部門土木工事（小倉送水場、同配水池）
・契約金額 二千四百四十五万円
・契約の相手方 村上建設（新

町、村上種次代表）
▽第四工区配管工事（善徳水源、台山、第三配水池間）
・契約金額 一億七千九百万円
・契約の相手方 株式会社佐藤藤土建（本荘市、佐藤喜左衛門代表取締役）
▽第五工区配管工事（台山、第三配水池、法内、下吹間、深山地内）
・契約金額 二億五千万円
・契約の相手方 エタニット建設株式会社東北支店（仙

台市、長谷川利貞支店長）
【専決処分の承認を求めることについて】
○昭和五十七年度町一般会計補正予算（第七号）
団体営草地開発整備事業（湯の沢地区）に、予算額を超える事業費の内示があり、本事業の早期発注を図るため、歳入歳出予算に二百四十四万三千円を追加し、総額をそれぞれ二十三億九千三百六十三万七千円とする補正予算を専決処分した。

町の社会福祉を高めるつどい

地域福祉に私も一役

安倍さんら五人が意見発表

「地域福祉に私も一役」を
テーマに、町の社会福祉を高
めるつどいが十月二十九日、
有鄰館で行われました。



地域福祉活動の推進・充実を誓い合った町の社会福祉を高めるつどい

これは、今年、児童福祉法制定三十五周年、共同募金運動三十五周年にあたるのを記念し、住民総参加のもとに、児童の健全育成と地域福祉活動の充実をいっそう図つていこうと町社会福祉協議会が開いたものです。

会場には、民生児童委員、議会議員、教育委員をはじめ、身障者協会、手をつなぐ親の会、母子福祉会員ら約二百人が集い、開会式の後、小・中・高生合わせて五人が、それぞれ体験・意見発表を行い、福祉活動の充実を呼びかけま

幸せを分かち合おうとする気持ちを

まず八塩小六年の安倍由紀

子さんが「福祉」を辞典で引くと『しあわせ』『さいわい』とある。全世界の人が幸せになるためには、一人でも多くの人が「福祉」の意味を理解し、努力するとともに、

幸せを分かち合おうと思う気持ちを持つことが大切だと思ふ」と発表。続いて、東由利中三年の嶽石美和子さんが「福祉はよくわからないと考える、自ら積極的に学び、相手の立場、気持ちを考えながら行動に移していかなければならぬ」と呼びかけました。

このあと、本荘高校下郷分校三年の大塚富美子さんが「福祉の原点は、弱い人をいたわる、やさしい心」だと思ふ。私は、道行く人で少しでも困っている様子をみかけたら、近づいていって「何かお手伝いしましょうか」と言う気持ちでいた」と発表。同校三年の佐々木孝子さんが「人それぞれ悩み、苦しみを背負いながら生きている。人生なにが起るかわからない時代、人と人との和を大切にし、お互いに思いやりの心を持ち、もつと助け合いながら生きていくべきでないか」と訴えました。

最後に、同校三年の長谷山慶子さんが「あるがままの状態をしつかりと見つめ、周りの人が少しでも幸せになるために自分には何が出来るだろうと考える心を常に持ち、やさしさを忘れず『共に生きる』

」と発表。続いて、東由利中三年の嶽石美和子さんが「福祉はよくわからないと考える、自ら積極的に学び、相手の立場、気持ちを考えながら行動に移していかなければならぬ」と呼びかけました。

このあと、本荘高校下郷分校三年の大塚富美子さんが「福祉の原点は、弱い人をいたわる、やさしい心」だと思ふ。私は、道行く人で少しでも困っている様子をみかけたら、近づいていって「何かお手伝いしましょうか」と言う気持ちでいた」と発表。同校三年の佐々木孝子さんが「人それぞれ悩み、苦しみを背負いながら生きている。人生なにが起るかわからない時代、人と人との和を大切にし、お互いに思いやりの心を持ち、もつと助け合いながら生きていくべきでないか」と訴えました。

最後に、同校三年の長谷山慶子さんが「あるがままの状態をしつかりと見つめ、周りの人が少しでも幸せになるために自分には何が出来るだろうと考える心を常に持ち、やさしさを忘れず『共に生きる』

」と発表。続いて、東由利中三年の嶽石美和子さんが「福祉はよくわからないと考える、自ら積極的に学び、相手の立場、気持ちを考えながら行動に移していかなければならぬ」と呼びかけました。

このあと、本荘高校下郷分校三年の大塚富美子さんが「福祉の原点は、弱い人をいたわる、やさしい心」だと思ふ。私は、道行く人で少しでも困っている様子をみかけたら、近づいていって「何かお手伝いしましょうか」と言う気持ちでいた」と発表。同校三年の佐々木孝子さんが「人それぞれ悩み、苦しみを背負いながら生きている。人生なにが起るかわからない時代、人と人との和を大切にし、お互いに思いやりの心を持ち、もつと助け合いながら生きていくべきでないか」と訴えました。

最後に、同校三年の長谷山慶子さんが「あるがままの状態をしつかりと見つめ、周りの人が少しでも幸せになるために自分には何が出来るだろうと考える心を常に持ち、やさしさを忘れず『共に生きる』

」と発表。続いて、東由利中三年の嶽石美和子さんが「福祉はよくわからないと考える、自ら積極的に学び、相手の立場、気持ちを考えながら行動に移していかなければならぬ」と呼びかけました。

このあと、本荘高校下郷分校三年の大塚富美子さんが「福祉の原点は、弱い人をいたわる、やさしい心」だと思ふ。私は、道行く人で少しでも困っている様子をみかけたら、近づいていって「何かお手伝いしましょうか」と言う気持ちでいた」と発表。同校三年の佐々木孝子さんが「人それぞれ悩み、苦しみを背負いながら生きている。人生なにが起るかわからない時代、人と人との和を大切にし、お互いに思いやりの心を持ち、もつと助け合いながら生きていくべきでないか」と訴えました。

最後に、同校三年の長谷山慶子さんが「あるがままの状態をしつかりと見つめ、周りの人が少しでも幸せになるために自分には何が出来るだろうと考える心を常に持ち、やさしさを忘れず『共に生きる』



安倍由紀子さん



嶽石美和子さん



大塚富美子さん



佐々木孝子さん



長谷山慶子さん

有害雑誌・自販機を追放

十一月に県民運動展開

今や青少年の非行は戦後第三の、しかも最大のピークを迎えているといわれています。こうした中、県、県教育委

員会、県警察本部、市町村では、青少年に悪影響を与えるおそれのある雑誌をみんなを追放しようと、十一月を「有

害雑誌をなくす県民運動月間」と定め、さまざまな運動を展開することになりました。

家庭をはじめ、職場や地域でも、あすを担う青少年を健康やかに育成するため、▽店先や自分の土地内に、有害な雑誌の自動販売機を置かせない。

有害雑誌の自動販売機が地域内に入り込まないよう、常に自分たちの住む地域環境に目を配る。

▽有害な雑誌は「買わない」「見ない」「家庭に持ち込まない」。

など、明るい地域環境づくりにご協力をお願いします。

という気持ちでみんなに接し、生きていきたい」と結び、それぞれ大きな拍手が送られていました。

真に必要な人
に手厚い配慮

午後には、湯沢文化会館長の小山田周八郎氏から「くらしとテレビ」と題する特別講演があり、最後に、町青年団体連絡協議会を代表し、町連合青年会長の長谷山順一さんが「人口構造の急速な高齢化の進行、核家族化の進展、扶養意識の変化、さらには社会連帯意識の低下の傾向もあつて、新たな社会福祉施策の展開が求められている今日、真に福祉を必要とする人々に対して手厚い配慮が必要であることを確認するとともに、広く地域の住民各層と密接な連帯をはかりつつ、住みよい、明るい町づくりを目指し、地域福祉活動の推進を期することを誓う」と宣言、全員がこれを採択してつどいの幕を閉じました。

昭和56年度・町の台所

6千742万2千円の黒字

四三・四%が建設事業に

昭和五十六年度の町政は、公共事業の抑制や起債充当率の低下など、一段と厳しい情勢下にありましたが、限られた財源を効率的に活用し、執行にあたっては以前にも増して創意と工夫を凝らし、生産基盤や交通網、生活環境の整備、福祉、教育の充実など、魅力ある町づくりを積極的に進めました。

この結果、一般会計決算額は、歳入合計二十億九千七百七十四千円、歳出合計二十億二千九百六十六万二千円、差引き六千七百四十二万二千円の黒字となり、五十七年度に繰り越しました。同会計予算額二十億七千八百三十万九千円に対して、執行率は、歳入一〇〇・九%、歳出九七・七%となっています。

一方、歳出の状況を性質別にみると、町税の約五・二倍にあたる七億八千八百三十三万六千円が普通建設事業費となっており、災害復旧費を合わせると、実に全体の四三・四%が住みよい町づくりのための建設事業に使われました。

歳入、歳出の内訳と主な建設事業実施概要、町有財産、公債現在高等は次のとおりです。

町の財産

基金 470,430千円

- ・財政調整基金 298,057千円
- ・国保財政調整基金 107,219千円
- ・簡易水道財政調整基金 18,344千円
- ・土地開発基金 20,000千円
- ・高額療養費貸付基金 2,000千円
- ・中小企業振興基金 6,000千円
- ・奨学資金貸付基金 1,010千円
- ・国民年金印紙購入基金 400千円
- ・高齢者等肉用牛飼育事業貸付購入基金 17,400千円

土地 7,296,461m²
(うち山林 1,264,802m²)

建物 28,848m²

有価証券 1,493千円

出資による権利 8,009千円

自動車、ブルドーザー等 28 台

公債現在高の状況

〈一般会計〉

1,900,283千円

一般単独事業債	386,244千円
義務教育施設整備事業債	116,392千円
辺地対策事業債	12,201千円
過疎対策事業債	722,359千円
公有林整備事業債	151,635千円
草地開発事業債	23,600千円
災害復旧事業債	75,614千円
秋田県貸付金	63,829千円
厚生福祉施設整備事業債	24,779千円
財政対策債	18,720千円
財源対策債	304,910千円

〈特別会計〉

83,771千円

過疎対策事業債	8,674千円
簡易水道事業債	75,097千円

□ 償還費に対して国から手当てされる割合

九月定例議会

九月二十一日に招集されました町議会第七回定例会は、監査委員の選任、五十六年度各会計決算など十三案件を審議、いずれも原案どおり可決、認定して十月二日に閉会しました。前号では、町長の行政報告、一般質問、九月三十日現在の可決案件などについてお知らせしていますので、今号では、五十六年度各会計決算と同決算総務財政常任委員長審査報告、追加案件などについて、概要をお知らせします。(四～六面)

可決案件 (追加分)

【職員等の旅費に関する条例の一部を改正】

バス運賃の改定に伴い、車賃の額を一キロにつき三十一円(現行二十八円)に改めたもの。

陳情・請願

〔付託事件に係る審査報告〕

○総務財政常任委員長報告

・スパイ防止法制定促進に関する意見書の提出を求める要望書について(スパイ防止法制定促進秋田県民会議議長高橋弥太郎)……市民生活への

関連など、まだ十分な調査をしていないので、さらに継続審査したい。

〈その他、継続審査としたもの〉

・台山二号線の舗装について(県立本庄高等学校下郷分校PTA会長佐々木正輝、同校教頭小野弘三)

・館合集落に流雪溝の設置を

早期に実現していただきたい陳情(館合地区流雪溝促進期成同盟会会長小野勝海)以上二件は、産業建設常任委員会に付託。

・スパイ防止法制定に反対する陳情(秋田県平和憲法を守る会代表者沢田政治)……総務財政常任委員会に付託。

性質別決算

の状況

性質別	決算額	構成比	性質別	決算額	構成比
人件費	342,811千円	16.9%	積立金	44,559千円	2.2%
物件費	184,845	9.1	投資及び出資金	7,960	0.4
維持補修費	45,210	2.2	繰出金	15,863	0.8
扶助費	58,304	2.9	投資的経費		
補助費等	239,628	11.8	普通建設事業費	788,336	38.8
公債費	208,270	10.3	災害復旧事業費	93,877	4.6

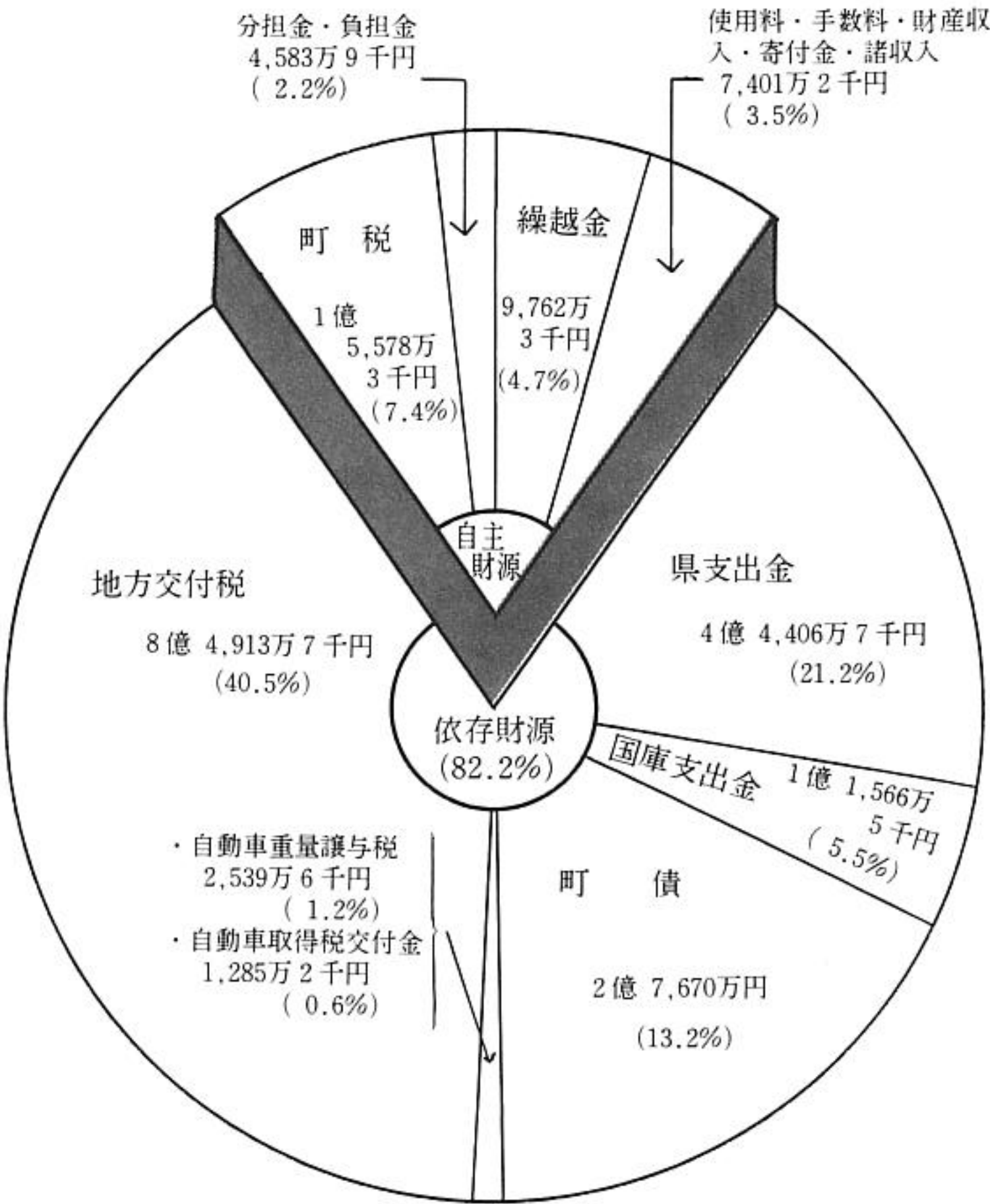
昭和56年度

主な建設事業の実施概要

事業名	事業費	事業の概要
◎補助事業	千円	
〈道路〉		
須郷農道	62,216	改良L=321m、W=5m 舗装L=1,375m、W=4m
律沢農道	49,490	改良L=860.7m、W=5m 舗装L=1,070m、W=4m
大平地区農道	72,324	改良L=1,056m、W=4m 舗装L=2,334.9m、W=3m
農免農道整備負担金	8,950	根小屋線 舗装L=1,627m、W=5.5m
〃	11,722	軽井沢線改良L=522m、W=7m 舗装L=1,337m、W=5.5m、 橋梁1
県営農道整備負担金	4,929	八沢木地区 改良L=368m、 W=7m、橋梁1(高村線)
大下地区	39,919	大下線集落道舗装L=467m、 W=4m、大下地区農道橋1
金山線	15,000	舗装L=520m、W=5.5m
倉茂沢線	20,098	改良L=300m、W=4m
石塚線	15,679	改良舗装 L=187m、W=4(5)m
大琴線	8,136	改良L=180m、W=4m
稲子沢線	7,998	改良L=266m、W=4m
石滝線	7,713	暗渠2カ所
農道律沢線	7,610	改良L=191m、W=5m
宿連絡道	4,020	改良舗装 L=155m、W=3(4)m
集落道新町線	2,801	舗装L=173m、W=4m
林道ボツメキ線開設	28,650	L=761.5m、W=4m
林道軽井沢線	2,803	舗装L=95m、W=4m
〈林業〉		
良質材化促進	15,368	枝打270.08ha
特用林産振興対策	4,540	桐新植・保有各9ha
〈生活環境・他〉		
宿地区多目的研修集会施設	53,869	{RC造A=420.175m ² 55・56年継続事業
大吹川・袖山地区営農 飲雑用水施設	15,542	
向山線集落排水整備	10,459	L=239m
消防施設整備	18,210	ポンプ付積載車 4台 防火水槽 6基
福祉バス整備	8,485	45人乗1台(更新)
スクールバス購入	5,550	47人乗1台
◎単独事業		
〈道路〉		
大琴線改良舗装	27,015	L=410m、W=4(5)m
岩館線改良舗装	4,921	L=78m、W=4(4)m
時雨山1号線改良	2,327	L=981.8m、W=4m
島田線改良	11,974	L=249.3m、W=5m
地下の沢線改良	3,377	L=206.2m、W=5.5m
松台線舗装	4,068	L=200m、W=4m
黒淵線舗装	4,721	L=223m、W=4.5m
時雨山線舗装	6,540	L=359.75m、W=4m
蔵上里線舗装	2,530	L=107.19m、W=4m
高戸屋線舗装	11,553	L=601m、W=4m
宿2号線舗装	1,714	L=77.1m、W=4m
台山2号線舗装	4,833	L=292m、W=4m
〈生活環境・他〉		
消防機械置場整備	9,240	4棟
町民運動場施設整備	15,255	
町営大平スキー場整備	9,253	照明・ロープトウ整備
造林事業	11,333	拡大造林保有 76.6ha 再造林保有 75.8ha

歳入の状況

合計 20億 9,707万 4 千円



歳出の状況

合計 20億 2,966万 2 千円

単位：千円



※カッコ内は構成割合

所得向上に

つながる産業振興を

56年度 決算審査 総務財政委員長報告(概要)



審査結果を述べる 長谷山総務委員長

九月二十二日の本会議で付託された昭和五十六年度各会計決算の審査結果について報告する。

各会計別決算は、総務財政委員会に付託され、内容については各常任委員会との連合審査とし、当局の説明を求め慎重に審査した。

ご承知の通り厳しい財政事情の中で、一般会計歳入一〇・九%、同歳出九七・七%の数字にみられるように、堅実な財政運営をしたことを評価する。

しかしながら、全国的、世界的産業構造の激変の中で、我が町の主幹産業たる農業がもろにその波をかぶり、税収面でみる限り、もはや給与所得を下回り、併せて、企業誘致を含む二次、三次産業も低迷している現実を直視するとき、町政運営の面に、町民所得の向上につながる産業振興を大きな柱とすべきことを

切望する。

又、今後迫っている小学校統合をはじめとする幾多の投資事業の円滑な実施運営のためにも、財政運用に一段の工夫、配慮の上、町民の付託にこたえられることを強く要望する。

一般会計並びに各特別会計は、計数的に相違なく、適切であり、各会計決算とも提案通りに認定するものと決定した。

審査の過程で、担当者にそれぞれ指摘事項、意見を述べた。執行にあたって十分配慮するよう要望するとともに、特に次の事項を申しあげる。町政運営にあたり配慮を要望する。

一、広域圏の施設の誘致について

昭和五十六年度決算の中で広域事業に対する支出額が二千七百三十四万九千円となり、特に施設が本荘地区に集中している。周辺のバランスはもちろんだ。我が町の振興のためにも広域の施設の導入を図られるよう望む。

二、八塩山麓県立自然公園の誘致と総合開発計画について

一、同地域内国有林の皆伐計画の延期又は中止

二、畜産と山菜、淡水魚等の地場特産物の開発

三、第二臨調の答申など、今後地方財政の厳しさが波及される中で、各営農集団の自主性確立と町産業をより発展させるため、町単補助の見直し、事業費補助へ転用するなど、補助対策についての検討を望む。

四、冬期交通対策について

冬期の交通確保は町民の切望するところであり、限られた予算の中で住民サービスは、除雪機械の格納庫など中央に集中することなく、それぞれの地域に分散格納し、よりいっそうの効果をあげるよう考慮されたい。

五、今後、公共予算確保には用地取得が先決であり、問題解決には行政当局のみでなく、

関係する地域の住民等の協力を得るよういっそうの努力を要望する。

六、教員住宅の効果的利用と営繕について、十分な配慮を望む。

七、給食材料の購入にあたり、業者の選定に十分配慮するとともに、見積書をとるなど、父兄負担の軽減を図りつつ、良質材料の確保に努められたい。

八、文化財の保存とその保存設備の確保が必要と思われるので工夫されたい。

九、奨学資金の貸付基金について

篤志家の寄付により設置された奨学資金制度(現在高百一万円)があるが、数年前よりその利用が皆無の状態である。且つ、基金利子も一般会計に繰入れとなり、増額されていない。貸付金の額も他町に比べ少額であり、条例の見直しなど有効な運営を図られたい。

以上。

56年度特別会計決算

国民健康保険	歳入 四億 八千九百九十九円	歳出 三億九千四百七十五千円
黒瀧診療所	歳入 二〇五万円	歳出 一八九万円
簡易水道事業	歳入 二、九七二万二千円	歳出 二、七三四万円
玉米財産区	歳入 二、五五五万六千円	歳出 六五五万七千円

56年度決算審査報告(概要)

代表監査委員 小 番 銈 平

○審査の主眼

一、予算執行の内容と効果について

(1)、予算配当、執行の時期が適切であったか。

(2)、物品及び財産購入の時期、質、量、価格が適切であったか。

(3)、工事の設計に問題はなかったか、また不要不急のものはなかったか。

(4)、検査、検収事務が適切に行われ、不経済な支出が行われなかったか。

(5)、効果が期待できない財政援助はなかったか。

二、収入の確保について

(1)、調定事務の公正が保たれているか。

(2)、減額、更正に相当の理由があったか。

(3)、徴収事務は厳正に処理されていたか。

三、会計処理について

(1)、会計年度の独立の原則は守られているか。

(2)、出納閉鎖期日は厳守されているか。

(3)、予算の議決前の執行はなかったか。

(4)、予算超過(議決、配当)の支出をしていないか。

(5)、予算の目的外支出はなかったか。

(6)、予算流用は当を得ていたか。

(7)、予備費流用は当を得ていたか。

(8)、収入、支出科目に誤りがなかったか。

(9)、記帳その他諸計算に誤りはなかったか。

○むすび

昭和五十六年度一般会計決算および各特別会計決算について、審査の主眼にしたがって審査を行った。その結果、特に問題はなく適正と認められた。町行政は、昭和五十六年度長びく世界経済の低迷と極端な国家財政の引き締め、加えて農村は二年続きの冷害という厳しい環境の中で、生産基盤の整備や生活環境の改善など、多様な住民要望を抱えながら財政運営にあたられ、歳入歳出とも、高い執行率をあげられたことについては高く評価したい。

今後、計画執行される学校建築及び水道拡張事業など大型の投資事業は、国の緊縮財政をうけて推進されることとなるが、当町の経常経費の増高傾向を十分に勘案し、歳入確保に万全を期するとともに、経費の節減に留意して真に住民福祉の向上につながる行政の選択を切望する。

昭和57年度
(4月～9月)

東由利町の財政

上半期財政報告

予定事業の
八三・九%発注

昭和五十七年度上半期(四月～九月)の町財政の概況をお知らせします。

一般会計当初予算額は二億九千七百四十七万八千円でしたが、その後六回にわたって一億九千四百一十六千円の増額補正を行い、九月末現在では二億九千九百四十九万四千円となっています。

歳出補正要因の主なものは▽大平スキー場整備関係費▽大台地区団体営農道整備費▽軽井沢農免農道整備費▽農村総合整備モデル事業費▽簡易水道特別会計繰出し金▽道路及び河川災害復旧事業費などです。

予算に対する執行状況は、歳入の三九・一%が収入済、歳出では三二・二%を支払っています。

また、今年度予定している建設事業については、良質工事の施工、早期完成を目指し、九月末までに八三・九%(予算額に対し)を発注し、その後の工事も順調に進んでいます。

特別会計
の状況

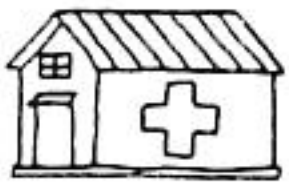
(単位：千円)

国民健康保険
特別会計



予算現額 365,320
収入済額 145,548
支出済額 143,293

黒淵診療所
特別会計



予算現額 2,060
収入済額 474
支出済額 688

簡易水道事業
特別会計



予算現額 303,608
収入済額 15,074
支出済額 13,280

玉米財産区
特別会計



予算現額 3,130
収入済額 1,899
支出済額 543

一般会計予算現額

23億 9,149万 4千円

〈歳入〉 収入済額 936,122千円 (39.1%)

(単位：千円)

町	税	予算現額	152,917	(0)	7.5
地方譲与税	〃	26,573	(0)		
地方交付税金	〃	964,545	(37,300)	40.3	
国庫支出金	〃	397,758	(21,837)		
県支出金	〃	240,052	(23,899)	16.6	
繰入金	〃	110,843	(18,843)	10.0	
繰越金	〃	67,412	(27,412)	7.5	
町債	〃	323,400	(62,600)	13.5	
その他収入	〃	107,994	(2,125)	4.6	構成比

〈歳出〉 支出済額 769,632千円 (32.2%)

(単位：千円)

議	会	費	予算現額	50,672	(2,775)	11.8
総	務	費	〃	230,975	(3,781)	7.1
民	生	費	〃	169,898	(718)	3.9
衛	生	費	〃	88,895	(24,690)	20.9
労働	費	〃	〃	5,086	(0)	6.3
農林水産業費	〃	〃	〃	488,979	(58,715)	4.4
商工費	〃	〃	〃	11,954	(10)	30.0
土木費	〃	〃	〃	151,793	(11,894)	4.9
消防費	〃	〃	〃	105,933	(3,871)	10.7
教育費	〃	〃	〃	717,265	(55,488)	
災害復旧費	〃	〃	〃	117,580	(32,074)	
公債費	〃	〃	〃	246,860	(0)	
諸支出金	〃	〃	〃	1,604	(0)	
予備費	〃	〃	〃	4,000	(0)	

凡例 済 未

※カッコ内は上半期補正額

公債現在高
1,841,222
千円



償還費に対して国から手当てされる割合

過疎辺地費
709,227
千円

義務教育費
114,374
千円

財源対策費
314,708
千円

災害復旧費
72,439
千円

その他
630,474千円
・転貸費分
(41,091)
・公有林整備費
(151,635)
・他
(437,748)

基金 474,405千円

土地 7,296,461m²

(うち山林 1,264,802m²)

財政調整基金 298,081千円
国保財政調整基金 120,169千円
簡易水道財政調整基金 18,345千円
土地開発基金 20,000千円
高額療養費貸付基金 2,000千円
中小企業振興基金 6,000千円
奨学資金貸付基金 1,010千円
国民年金印紙購入基金 400千円
高齢者等肉用牛飼育事業貸付購入基金 8,400千円

建物 28,940m²
有価証券 1,493千円
出資による権利 8,080千円
自動車、ブルドーザー等29台

(9月末現在)

町有財産

町有財産

常に学ぶ心を忘れず

町老人クラブ連合会 設立20周年祝う



20年を一区切りに、いっそうの発展を誓い合った町老ク連の、成人式。

町老人クラブ連合会の設立二十周年記念大会が十月二十三日、有鄰館で行われました。

いわば、同連合会の「成人式」ともいえるもので、会員、来賓合わせて約二百七十人が出席した。

統計功労

小松さんが総理大臣表彰

高橋さんは知事表彰



鈴木総理からの表彰状を手に喜びの小松さん

五十七年度県統計功労者表彰式が、十月二十日秋田市の

県児童会館で行われ、席上、本町向田の小松惣一さんに、

個人では県内でただ一人内閣総理大臣表彰が伝達され、下小路の高橋政一さんに知事から表彰状が贈られました。また、県統計グラフコンクールに

「横山川の水の温度と深さ」と題する作品を出して佳作となった八塩小学校三年の小林史幸君に賞状と記念品が手渡されました。

大臣表彰を受けた小松さんは、昭和五十六年度労働力調査に従事し、その成績が極めて優秀であることが認められたものです。

また、高橋さんは、多年にわたり、工業統計や事業所統計、商業統計などの各種調査に従事し、統計の重要性を認識して正確な調査を行っていることが認められたものです。

杉森に待望の会館落成

地域住民ら盛大に祝賀会

成し十月二十三日、地域住民、町、議会、工事関係者ら約五十人が出席して盛大に落成祝賀会を行いました。



【写真上】完成した杉森集落会館 【写真下】盛大に行われた落成祝賀会（同会館で）

同会館は、農村基盤総合整備事業（ミニ総バ事業）の農作業休養施設整備として、集落内を通る町道大下線沿いに去る七月から建設を進めてきたもので、床面積九一・六五平方メートルの木造平屋建。集会室のほか、和室、調理室などがあり、研修、生活改善等の

完成の喜びはひとしお大きいものがあり、祝賀会場では、カラオケや踊りなどの余興が後を絶たず出て盛大な宴となり、お互いに杯を交わしながら念願の研修集会施設完成を祝い合っていました。

席。初めに、物故者に対する黙とうが行われたあと、梅津千代松会長が「三十七年に発足した時は二クラブしかなかったのが、今では、十クラブ五百余会員と大きく発展した。関係機関のご指導、先輩の努力に感謝するとともに、常に学ぶ心を忘れず、好かれる老人、話せる老人、役立つ老人」となるよう、さらに努力して「こう」とあいさつ。九十歳以上の九人の方にお祝い

状、老人クラブの組織活動、発展に功績のあった四氏に表彰状を贈りました。

このあと、受彰者代表のお礼のことば、来賓祝辞、在学青少年育成指導員の牧賢蔵氏の「老人の生きがい」と題する記念講演があり、高戸屋の小松慶治郎さんが「地域福祉の向上と、明るく豊かで生きがいのある老後を目指し、進んで学習する、自らの管理で健康の保持増進に心がける、友愛訪問などを実施し、住み

よい地域社会づくりをすすめる交通事故に「あわない」「おこさない」「許さない」を「実践する」と大会宣言を読み上げ、万歳を三唱して式典を終えました。

続いて、懇親会に移り、会員らは、杯を交わしながら二十年間の活動をふり振り返り、高齢者としての立場を自覚し地域福祉の向上、充実を目指そうと誓い合っていました。

表彰者等の氏名は次のとおりです。（順不同・敬称略）

【表彰状】・佐藤源之助（下小路）・小野貞賢（蔵）・渡辺与七（時雨山）・工藤武雄（山崎）

【お祝い状】・佐々木ミネ（大琴、95歳）・佐藤アサエ（黒田、94歳）・佐藤吉郎（寺田、91歳）・長谷山キヨ（下通、91歳）・佐々木ノエ（下通、91歳）・佐藤アキノ（五海保、90歳）・遠藤太吉（新処、90歳）・太田ハルノ（大吹川、90歳）・大場イワノ（宮の前、90歳）

機能も備えています。総工費は千三十五万二千円となっていますが、補助金や起債などでまかなわれるため、地区の負担はありません。

長い間、集落内の会合は自治会長さん宅などで開いてきた地区の人たちにとって、地域のシンボルともいえる会館

八塩小 男子準優勝・女子三位

郡市小学校バスケットボール大会

県大会での活躍に期待



第九回郡市小学校バスケットボール大会が十月二十三・二十四日の両日、鶴舞小学校体育館で行われました。

本町からは、八塩小と蔵小が出場。旧住吉小と昨年アベック優勝を果たした旧玉米小の伝統を受け継いだ八塩小の男子が準優勝を飾って県大会出場権を獲得し、同小女子が三位の好成績を収めました。

また、蔵小も善戦しましたが、男子はわずかにゴール差、女子も今一步のところで二回戦進出はなりませんでした。同大会には、男子が十一チーム出場。一回戦シ

郡市ミニバス大会で活躍の八塩小児童

ードされた八塩小は、二回戦新山小を五四対一四、準決勝平沢小を三五対一二の大差で破り決勝進出を決めました。相手は、昨年準優勝の鶴舞小。

八塩小は、初優勝を目指し試合開始直後から積極的に攻め立てましたが、身長に勝る鶴舞小にリバウンドボールをものにされ、結局、一八対三三で準優勝に終わりました。

一方、女子は九チームが出場。男子と同じくシードされた八塩小は、二回戦下川大内小を五八対二三で退け準決勝に進出。対戦チームは前大会三位の子吉小。

八塩小は、男子に続いて決勝進出をと盛んな声援を受け、一点を争う好ゲームを展開しましたが、わずかにゴール半差で涙をのみ、惜しくも県大会アベック出場はなりませんでした。

出稼ぎされる皆さん！

安全就労を第一に

経済の冷え込みといわれ、行政改革が叫ばれているこのごろ、今季の出稼ぎは、就労条件の悪化や賃金の不払い、事故の発生などがいつそう懸念されます。

こうしたことから町では、事業所側への安全就労に対する要請と、就労状況についての情報交換などを行い、安全

就労の推進を図ることになっています。出稼ぎに行かれる方も、就労前の健康診断は必ず受けるとともに、万一の病気や事故の発生などに備え、出稼互助会に加入し、本人も家族も安心したうえでわが家にあとにするようにしてほしいものです。

このほか、特に次のような

- 心に心がけてください。
- 就労事業所や住所が変わったときには、家族はもちろん役場にも連絡する。
- 就労前と著しく条件が違ふ場合には、できるだけ早く職安や役場に連絡する。
- 万一、病気や事故にあった場合は、できるだけ早く医師の診察を受けると同時に、役場にも連絡する。
- 自分の健康状態をみながら決して無理働きのしない。
- 健康診断で医師に出稼ぎを止められた場合には、決して、ムリをして出かけることのないように。

- 就労するにはできるだけ職安をとす。
- 事業所側とのトラブルが起きた場合には、できるだけ早く役場に連絡する。
- 出稼就労者手帳は三年で更新されるようになっていいますので、その更新手続きを忘れずに、就労するときに必ず持っていく。
- 留守家族との連絡は密にして、営農に支障のないように心がける。

後田随想



収入役 小野丹左工門

こうしたなかで、二度のオイルショック後の国の財政は、悪化の一途をたどり、財政再建のため「行政改革」が国民的課題として叫ばれるようになってきました。それは当然、地方財政をジワジワと締めつけてきています。

聞くところによりますと、大蔵省では「従来のように、地方財政のめんどうはみきれない」と聞き直りともとれるような発言さえ出ているといわれ、最近の新聞報道等にもそれが見られるようです。

自主財源の乏しい地方自治体としては、現下の国の財政状況を的確に把握し、行政財政運営の効率化に努め、これに対応していかなければなりません。

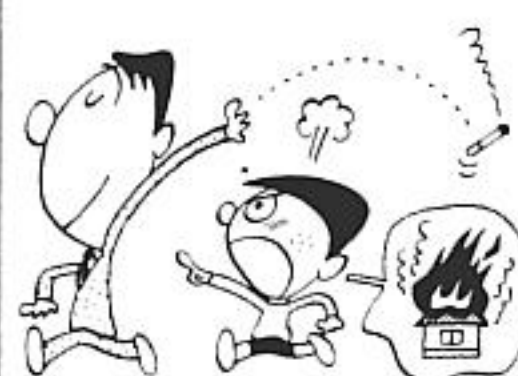
行政の要諦は、地域住民との信頼の上にあらねばならないと言われています。信頼を築く方法論はおくとして、ますます多様化する行政需用に対しては、話し合いを深めることによって整理し、事業の緊急度、公共性を十分見極めて計画的に執行していかなければならないと考えます。町民皆様のようにいつそうのご協力をお願いしたいと思います。

県大会は、新年早々に秋田市の県立体育館で開かれることになっており、八塩小健児の活躍が期待されるようです。戦績は次のとおりです。

男子	女子
▽一回戦 矢島23-21蔵	▽一回戦 下川大内33-23蔵
▽二回戦 八塩54-14新山	▽二回戦 八塩58-23下川大内
▽準決勝 八塩35-12平沢	▽準決勝 子吉30-27八塩
▽決勝 鶴舞33-18八塩	

秋の全県火災予防運動

11月7日～11月13日



小・中学生242人が元気に完走

全町マラソン大会

残念！一般参加はゼロ



ヨーイ ドン！ゴール目指して1.5kmを力走

町教育委員会と町陸上競技協会の主催する第九回全町マラソン大会が十月十六日、それぞれの年代に合わせた一から四キロのコースで行われました。

当日は、小・中学生合わせて二百四十二人が参加。胸と背にゼッケンをつけた選手らは、連日の好天続きで取り入れの進む田んぼを横目に公民館前のゴール目指して力走、全員が元気に完走しました。

ただ、今年も一般からの参加者はなく、全町大会と銘打つ競技会としてはいまひとつ物足りなさを感じさせ、大会関係者らを残念がらせていました。

各部の上位入賞者名等は、

次のとおりです。(マル内数字は順位)

〔小学校男子の部(跡見坂) 公民館1.5km〕

〔五年生〕 ①太田久隆(蔵小、5分11秒) ②阿部誠(大琴小) ③高橋和美(大琴小)

〔六年生〕 ①八嶋和人(八塩小、5分2秒) ②佐々木良一(大琴小) ③工藤秀晃(蔵小)

〔小学校女子の部(町民グラウンド) 公民館1km〕

〔五年生〕 ①池部留美(大琴小、3分33秒) ②佐藤真由美(老方小) ③畠山春子(大琴小) ④六年生

遠藤由美子(蔵小、3分29秒) ②長谷山雅子(八塩小) ③佐々木和美(老方小)

〔中学校男子の部(高戸屋) 公民館4km〕

〔一年生〕 ①小松和明(15分7秒) ②畠山年昭 ③莊野健 〔二年生〕 ①小野弘喜(14分28秒) ②阿部角栄 ③柏原純

〔中学校女子の部(館合新田) 十字路) 公民館2.5km〕

〔一年生〕 ①阿部司(10分15秒) ②菊地享 ③横山美和子 〔二年生〕 ①工藤まき子(10分3秒) ②小松久美子 ③小松和枝



出羽丘陵開発の草地造成事業は、是非成功させなければならぬと思っております。

その為、町は、農道の造成費の負担については一切町が持つと約束してきました(負担分二億一千万円)。

しかし、草地造成費の農家負担をもう少し軽減できないものか、一二・五%を、五%引き下げて七・五%にするように県に要望して来ました。

本町の農道の計画事業費は十七億円ですので、これによると約七千万円のカサ上げになります。要望額よりは約四千万円不足であります。県の実態から、今のところではこれ以上は望めないと判断し、県では正式決定ではないと言いますがこの方向で作業を進めたいと考えています。

本町では、私有地の事業費はあまり高額でありませんし、又、私有地という条件を考えて、これ以外の町有地の造成費に約五%のカサ上げが出来るように県の正式決定を待って計画して行きたいと思っています。

この間、議会に於いては八月九日 議長が知事に要望

・九月二十二日 副議長、遠藤治郎助産建副委員長が県議会へ陳情

・十月十九日 川尻産建委員長が、市郡議員大会で重点要望事項として発表

以上のような経過です。出稼ぎの多忙な時期であります。関係の皆様のご協力をお願いします。

東田利の地名

= 29 =

宮の前部落の中心に、八幡神社の独立の社があったが、十数年前部落会館を建てる時に解体し現在、社の一部とご神体が会館の奥に祀っている。

この八幡神社を土地の人は、八幡さまと呼び昔から親しんできているが、もともとは現在地にあつたのではない。大日向左司馬さんの裏手八幡山(三角山とも呼ぶ)の頂上に祀っていたもので、その礎石が今でもあ

宮の前

社について「下村古来物語(二六九四年)」に「八幡堂・御本尊弓矢八幡・別当宮前小笠原孫左衛門・宇那根山法軍寺・大日向中将」とある。

いつの時代かの山では何かと不便だし、もっと身近に祀りたい気持ちなどから部落中

央の現在地に移した。昭和三十年代までは小さな祠と鳥居があつて、やがて(若者たちの春の祝の酒盛)をしたものだと言う。この八幡さまの前にあつた集落だったことから、地名として呼ばれるようになったのではない。

宮の前には墓地が部落のはずれの、東と西にそれぞれある。これは部落中央にある八幡さまの前を亡骸が通るのには不浄なことで、神のたたりを恐れた人々が崇め奉まつることから、二つのお墓を設けたと言われる。(文・畑山昭一)

町長日記

す。

11月のこよみ

陰暦異名・霜月(しもつき)
誕生花・菊(高貴)
誕生石・トパーズ(黄玉)(友情・幸福)

曜 日	行 事
1 月	
2 火	
3 水	文化の日、町功労者表彰式(有鄰館)
4 木	
5 金	民生委員協議会、インフルエンザ予防接種 生活文化祭出品物搬入(蔵小・永慶保育園)
6 土	生活文化祭(〜7日)
7 日	
8 月	
9 火	インフルエンザ予防接種(大琴小)
10 水	三種混合予防接種
11 木	
12 金	
13 土	
14 日	
15 月	青少年育成キャラバン隊来町
16 火	インフルエンザ予防接種(中学校)
17 水	年末調整説明会(有鄰館)、妊婦健診(有鄰館)
18 木	貧血改善学級(蔵地区)
19 金	生ワクチン投与(有鄰館)
20 土	町県民税(3期)、固定資産税(3期)督促状発送
21 日	
22 月	ことぶき大学
23 火	勤労感謝の日
24 水	就学前児童健康診断
25 木	乳がん検診、貧血改善学級(蔵地区)
26 金	育児学級(有鄰館)
27 土	
28 日	
29 月	栄養改善実習(老方地区、有鄰館)
30 火	農業委員会
摘 要	30日 国保税(3期)納期限

おしらせ

町の概要	
人口総数	6,306人
うち男	3,115人
うち女	3,191人
世帯数	1,442戸
面積	148.51km ²
	(57.9.30現在)

社会保険出張相談所

毎週月・火曜日に開設

県では、年々増加する厚生年金を中心とした社会保険についての相談や照会に答えるため、これまで毎月一回本荘市役所で開設していましたが、定期相談所に変えて、本年十一月から次により「社会保険出張相談所」を開設することにしました。

同相談所では、年金を中心とした相談のほか、事業所の

社会保険関係諸届けの受付も行いますので、気軽に利用してください。

・開設場所 本荘市商工会
・相談の日時 毎週月・火曜日(休日の場合は翌日)：

午前九時から午後三時まで
無料税務相談

▽とき 11月11日(木)・12日(金)、9時〜16時

東中が団体競技で一位

市郡珠算競技大会

本荘市由利地区商工会連絡協議会主催の第二十九回市郡珠算競技大会は、十月十六日鶴舞小学校体育館で行われ、第二部(中学校)に出場した本町東由利中学校が、団体競技でみごと一位に輝いたのをはじめ、同部個人競技で佐藤文さん(東中一年)が五位、第三部(小学校)の団体競技で佐野珠算塾(新町)が四位の好成績を収めました。



市郡珠算大会でみごと団体1位となった東中生

▽ところ 東裏尾崎会館(本荘市)

▽主催 東北税理士会本荘支部

※ 気軽に利用してください。

源泉所得税の年末調整説明会

▽とき 11月17日(水) 9時30分〜11時30分

▽ところ 有鄰館

▽主催 本荘税務署

今秋も水銀防犯灯一基

東北電力が寄贈

防犯、交通事故防止などに役立ててください——と十月十八日、東北電力(株)本荘営業所では、秋のサービス旬間にちなみ、今秋も水銀防犯灯一基を寄贈してくれました。

町では、早速、館合新田集

伸びよう、伸ばそう青少年

11月は青少年健全育成強調月間

落内に取り付け、地域の安全に役立てることにしました。



防犯灯寄贈目録を受ける町長(右)

結婚

小松 茂穂 新町
佐林 和美 由利町
畠山 満春 上通
伊藤 洋子 大内町
大友 幸男 本荘市
日向 サチ子 宮ノ前
大野 房範 祝沢
小石 幸子 家ノ下

〇うぶ声

9月21日〜10月20日受付

慶弔だより

高橋 学 地下の沢 守 長男

・お悔み申し上げます

長谷山 勇一郎 湯出野 66歳
小野 トキ 上里 67歳

統計で見るわが町 ⑥

水田率

市町村名	順位	指標
大湯村	1	100.0%
県平均		88.1
八森町	52	83.7
東由利町	53	82.3
合川町	54	82.0
鹿角市	69	60.1

昭和55年2月1日
農林水産省「1980年世界農
林業センサス」

算式= $\frac{\text{田の面積}}{\text{総経営耕地面積}} \times 100$

100農家当たり 農用機械普及台数

市町村名	順位	指標
大湯村	1	433.1台
神岡町	22	246.7
東由利町	23	244.2
由利町	24	243.3
県平均		221.4
八森町	69	152.5

昭和55年2月1日
農林水産省「1980年農林業
センサス」

(注) 1.個人有台数
2.農用機械は、耕うん機、農用トラクター、田植機、自脱型コンバイン、稲麦用動力刈取機、米麦乾燥機をいう。



**16ミリ映画機操作技術
認定講習会**
日 時 11月14日(日)
午前10時～午後3時
会 場 東由利町公民館
受講料 1,000円(認定・資料代)
再受講者 600円
申し込みは12日まで公民館に!

映画貸出サービスと操作技術認定講習

あなたも

16ミリ映画を 写してみませんか

町公民館にある四台の16ミリ映画機は、小・中学校の授業を始め、各分館、企業、サークル等で幅広く利用されています。例年、農繁期が一段落したこれからの時期が機器貸し出しのピークとなるため、映画は、テレビ等がない大寫しの迫力、それに伴う

貸し出しする

フィルム一覧

題 名	時 間
1 わが家の好敵手	41分
2 あしたの空は青い空	46分
3 すばらしい松おじさん	43分
4 手のひらの詩	30分
5 働く母	33分
6 ニホンザル母の愛	30分
7 猿倉人形	30分
8 自然の王国	35分
9 タバコ	20分
10 ガンの予防	29分
11 マンガ・ごんぎつね	21分
12 ムーミンとむじな	18分

貸し出しの期間は、11月15日から12月14日までです

臨場感、また映像の鮮明さなど多くの長所があるだけに、両センターとも各分野にわたって多くのフィルムを準備しています。公民館では、映写機の貸し出しに合わせて、フィルム選

お知らせ

地区研修会実施

高校生を持つ親の会

町高校生を持つ親の会(佐々木正輝会長)では、町内の高校生をはじめとする

社会教育研究

協議会を開催

青少年の健全育成のため、非行防止をテーマにした映画の鑑賞や主として親同志の横のつながりを深めるための研修会を町内五カ所で行います。同研修会では初の試みとして、誰もが気軽に参加できるように軽く晚しやくコーナーも準備しています。開会時間は各会場とも午後六時三十分からで、日程は次のとおりです。

町内の公民館並びに社会教育関係者、県教委、中央教育事務所の関係者が一堂に集い、「分館活動を活発にするにはどのようなすればよいか」をテーマにした研究協議会を次により開催します。

秋田県生涯教育センターでは、同施設を会場に現在社会通信教育を受講している人や、今後受講しようとする人を対象に、研究集会を開催します。

社会通信教育

受講者研究集会

期 日 11月14日(日)
内 容 講演「これからの学習社会と通信教育」法政大学・尾形憲教授
課程別スクーリング

11月21日は家庭の日

内容 袖山家庭教育学級の参観と前記テーマに基づく研究協議



移動文庫 入れ替えました

農繁期が一段落し、灯火に親しみやすい季節となりました。町公民館では、本館から遠く利用しにくい地域の方々の

扱や借り受け交渉などの便宜を図るほか、一定期間すぐれたフィルムを確保、町内での利用に供したり、16ミリ映写機の操作技術認定講習会なども開催して、視聴覚学習の充実を図りたいと考えております。日程等は別記のようになっていますので、大いにご利用ください。

- ▼黒 八塩縫製工場
- ▼田 渡辺イ子宅
- ▼館 菊地理容店
- ▼老 東洋縫製工場
- ▼老 マルサシーイング社
- ▼宮の前 ジャンプ工場
- ▼蔵 大蔵館
- ▼法内 克雪管理センター
- ▼宿 小野電子工業
- ▼袖山 佐々木真一宅

移動文庫受け入れ先

便宜をはかるため、町内の十ヶ所に移動文庫を設け貸し出しを行っております。先月下旬に児童図書を中心に入れ替えましたので大いにご利用ください。

新刊購入図書

公民館の図書室に新しく100冊の本を購入しました。今回はその一部を紹介いたします。

- ▼右むけ左 松谷みよ子
- ▼あかちゃんの本(1-9)
- ▼花の童話集 わたしの
- ▼花物語 かなたかな絵本
- ▼漢字の絵本 ことばの
- ▼あいうえお 絵本ことば
- ▼遊び かもしれないおかしな
- ▼ん さらさらのぼったさかな
- ▼なや こんこんさまにさしあげそうろう へそと
- ▼りごろべえ 花さき花
- ▼うさぎのしま 家庭の
- ▼法律 アロービックダン
- ▼シング 住宅のインテリ
- ▼ア ペン習字 365日 家庭
- ▼大全集 家紋大全集
- ▼最新住宅間取り 100選
- ▼増改築のまとめ方
- ▼住みやすい中小住宅間取り 標準住宅プラン 210
- ▼集 住宅設計間取り集
- ▼庭木のある庭 水と石
- ▼のある庭手づくりの庭
- ▼住まいの小庭 生垣門
- ▼堀 中世の秋田 年画状
- ▼の描き方 世界の名酒事
- ▼典 日本料理全書 ラブ
- ▼おばさんのお嫁さんクッ
- ▼キング 365日役立つ困ったときの生活百科 幹事
- ▼司会役に困らない本